

戦 評

大会名 第22回 日本スポーツマスターズ2022 岩手大会
バレーボール競技 岩手県予選会

期日:令和4年6月26日
会場:オガールアリーナ

男子決勝戦

巖きたかみ 2 $\left\{ \begin{array}{l} 21 - 13 \\ 23 - 21 \end{array} \right\}$ 0 V a b o
試合時間 0 時間 54 分

主 審 佐々木 良子

副 審 女鹿口 孝

戦 評

10連覇を狙う巖きたかみに対し、昨年の屈辱を晴らしたいVaboの対戦となった決勝戦。

第1セット、巖きたかみは序盤から多彩な攻撃陣が両サイドや時間差を絡めて確実に得点を重ねる。守りが崩れたVaboは12番レフト川村にボールを集めるも、単調な攻めで点差が縮まらず攻め切った巖きたかみ先取する。

第2セット、Vaboはライトオープンに16番佐々木を先発させ、9番三上をフォワードレフトに入れブロックを強化し、序盤から点の取り合う激しい攻防を繰り返す。

中盤で一步抜け出すかにみえた巖きたかみだが、追いすがるVaboも12番レフト川村が相手ブロックを巧みに利用した強打と頭脳的な軟打で21-20と逆転する。

追う立場となった巖きたかみは、ここでも焦ることなく12番高橋のライトからの強打、11番ハーフセンター伊藤の強烈な時間差攻撃で再逆転。最後はVabo12番川村のワンタッチを狙ったレフト攻撃が惜しくもアウトとなり、巖きたかみが勝利し、9月に当県で開催される全国大会の開催地代表権を手にした。

戦評者 加藤 治

岩手県クラブバレーボール連盟